

# 「今、私にできることを」

## 各地で青年が支援呼びかけ活動

若手僧侶有志が  
駅前で街頭募金

滋賀・滋賀組

滋賀教区滋賀組寺族  
青年会(三宮義円会長)

は3月14日から5日  
間、朝夕の通勤時間に  
合わせJR堅田駅前な  
どで街頭募金を行った  
(写真)。

布袍、輪袈裟姿で「私  
たちは西本願寺の僧侶  
です。本願寺を通じ被

災地に届けさせていた  
だきます。皆さんの義  
援金がいのを救いま  
す」と呼びかけ、義援  
金78万4941円が寄  
せられた。

本山・社会部に震災  
義援金として届けた後  
にもう一度駅前にな  
ち、「義援金は、本願  
寺を通じ被災地に届け

寺を通じ被災地に届け  
させていただきました。  
た」とお礼を述べた。

街頭募金や支  
援物資集める

東海の青年たち



東海教区の教区仏教  
青年会が3月16日、寺  
族青年連盟が20日、名  
古屋駅や名古屋別院周  
辺の商店街などで街頭  
募金活動を行った。

また同教区では、東  
ケースと85食、ミルク

13年などを提供した。  
会員たちがそれぞれの  
地域で呼びかけを行  
い、ある会員は地元の  
社会福祉施設から紙お  
むつの提供を受けた。

ペットボトルで  
教区内に募金箱

福井西別院仏青

福井西別院仏教青年  
会(和多田崇宏会長)  
は彼岸会中の3月20  
21日、福井別院で募金  
活動を行った。また、  
ペットボトル募金箱を  
手作りし、教区内寺院  
に配布して募金を呼び  
かけている。

和多加会長は「福井  
豪雨災害で多くのご支  
援をいただいた。仏教  
青年として自分たちに  
何ができるかを考え、  
5月の別院降誕会でも  
バザーを検討してい  
る」と語った。

## 「被災地にあかりを」

愛知の僧侶ら残ろう届ける

「被災地にあかりを  
届けよう」と、愛知県  
西尾市の僧侶たちが全  
国各地の寺院に、法要  
で使われた残りのろう  
そくを呼びかけ

提供を呼びかけたの  
は「あかりを届け隊」

(幹事)結城央道浄願  
寺住職)。東海教区海  
幡組の僧侶のほか、真  
宗大谷派や浄土宗の僧  
侶も協力。

ろうそくは全国各地  
から届き、汚れを落と  
した後、同組や浄願寺  
のキッズサンガの子ど  
もたちが書いた「元氣  
を出して」「心にも灯

火がとまりますよう  
に」などのメッセージ  
を添えて送った。この  
活動に、マスクを扱う  
店からも無償で720  
0枚のマスクの協力が  
あり、ろうそくと一緒  
に両本部へ届けた。

東北教区現地本部の  
高田英彦本部長は「被  
災寺院へのお見舞いと

一緒に配らせていた  
きます。マスクも被災  
者とボランティア用に  
活用させていただきま  
す」と話していた。

## 宗会が義援金

宗会親和会(宗会議  
員の会)は3月28日、  
東日本大震災の義援金  
300万円を、桑羽隆  
慈宗会議長が橋正信総  
長に届けた。

## 兵庫から支援

兵庫県・西播磨地域  
の僧侶有志が相互研鑽



子どもの集いで寄せ書き 北海道・真願寺

北海道江別市の真願寺(石堂了正住職)  
は3月12日、子どもの集いで60人を超える  
子どもたちと追悼の法要を営んだ。  
法要後には、石堂住職が「今、私たちに  
できることは、ただの傍観者ではなく、苦  
しんでおられる皆さんに少しでも心のこも  
ったメッセージを送ること」と呼びかけ、  
被災地に向けて寄せ書きを行った(写真)。  
寄せ書きは東北教区現地緊急災害対策本  
部に送られた。

のために組織する真宗  
興隆会は4月1日、本  
山を訪問し同会が集め  
た「たすけあい運動募  
金」20万円を橋正信総  
長に手渡した。  
同会の菅義成さんは  
「阪神・淡路大震災の  
被害を受けた兵庫は各  
地からのご支援で復興  
できた。大遠征を支援  
の輪を広げていく機会  
にしていきたい」と話  
していた。